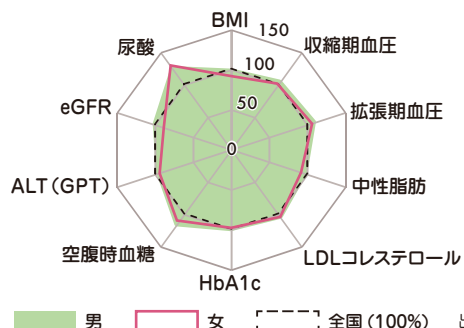


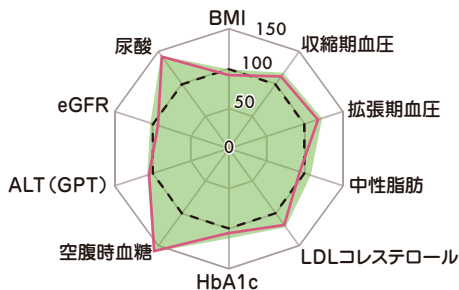
名古屋市高齢者の健康状態と健康課題

健康診査のデータから見たこと?!

名古屋市国民健康保険特定健康診査
標準化有所見率(40~74歳)(令和4年度)



名古屋市後期高齢者医療健康診査
標準化有所見率(令和4年度)



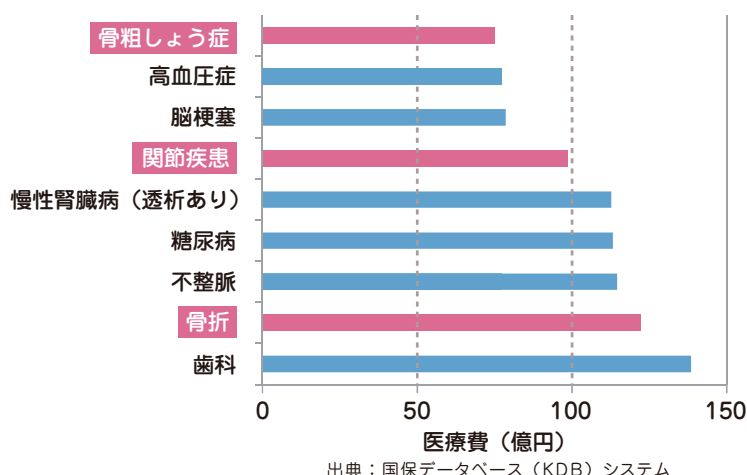
健康診査の結果では、男女とも空腹時血糖、尿酸の有所見率が全国より高くなっています。

後期高齢者ではHbA1c、血圧、LDLコレステロールについても全国より高値であり、さらに近年上昇傾向にあります。

放置すると、病気の発見の遅れや悪化による入院・長期治療が必要となり、医療費がかかります。

医療費データから見たこと?!

名古屋市後期高齢者疾病別医療費
【男女計・上位9疾病】(令和4年度)



後期高齢者の疾患別医療費は、歯科、骨折、不整脈、糖尿病、慢性腎臓病(透析あり)、関節疾患、脳梗塞、高血圧症、骨粗しょう症が上位に挙がっています。

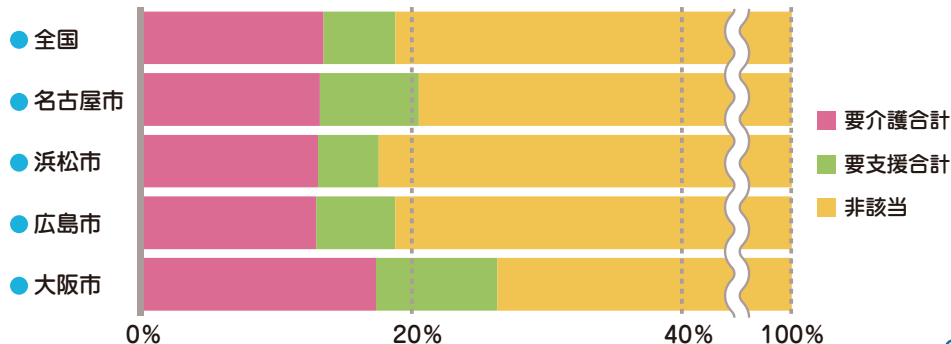
骨折の医療費は、慢性腎臓病(透析あり)や糖尿病と同様に高額となっています。

慢性腎臓病(透析あり)、糖尿病の医療費が高額で、全国と比べても高く、過去5年間の高齢者の糖尿病の医療費は増加傾向です。

病気の重症化や長期入院等により心身機能が低下し、介護が必要となります。

要介護認定から見たこと?!

全国と他の政令指定都市の要支援・要介護認定割合
(令和3年度)



高齢者の要支援・要介護認定率の合計は20.1%で、全国平均の18.9%より高くなっています。

高齢化率が高い政令指定都市は、要介護認定率も高い傾向となっています。

日常生活が制限され、自立した生活を送ることが難しくなります。

